



# ギルフォームW・RBボード

## 外断熱工法

### 外断熱

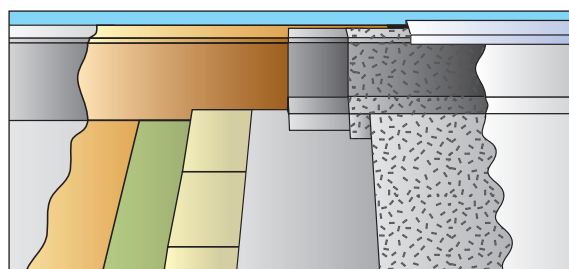
エネルギーを無駄にしないための工法として、東西アス協組では「外断熱工法」を一貫して提唱しています。外断熱工法はスラブに対する外気温の影響を大幅に軽減することにより躯体を保護します。また、屋根スラブの蓄熱量を少なくし内部結露の発生を大幅に軽減します。

東西アス協組仕様の外断熱工法は2種類あります。露出防水用の「ギルフォーム断熱工法」と押え防水用の「RBボード断熱工法」です。それぞれ専用の断熱材耐熱型硬質ポリウレタン系フォーム「ギルフォームW」と連続押出発泡ポリスチレンフォーム「RBボード」を使用します。

#### ■ ギルフォーム断熱工法 (露出防水用)

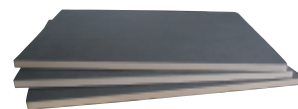
スラブと防水層の間に断熱材「ギルフォームW」を設ける、露出防水用の断熱工法です。

- ・ 内部結露の発生を抑制し、断熱性にすぐれています。
- ・ 寸法安定性にすぐれ、伸縮や反りが極めて小さく、防水層との一体化が図れます。
- ・ 耐熱性にすぐれ、高温の溶融アスファルトに接触しても形状や性能が変化しません。
- ・ 特殊な表面処理をしている為、従来品に比べ夏期での表面温度が5℃以上下がりますので技能工の労力負担が軽減できます。
- ・ 下地スラブに直接専用接着剤「クールボンド」で貼り付けるため、プライマー処理が必要ありません。
- ・ 「クールボンド」は1液無溶剤型の接着剤で、地球環境や人体にやさしい製品です。(VOCの発生はありません。)



#### ギルフォームW

非常に大きな断熱効果が得られる板状の耐熱型硬質ポリウレタン系フォームです。環境問題に十分配慮した「ノンフロン」の断熱材です。

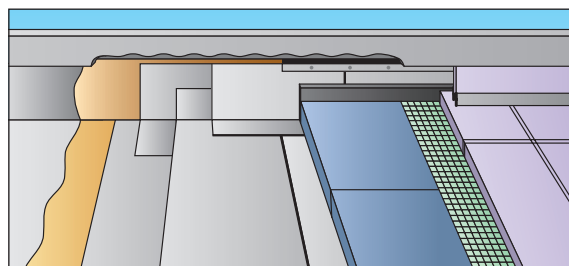


- 1,200mm×900mm
- 厚さ 25・30・35・40・50・60mm

#### ■ RBボード断熱工法 (押え防水用)

防水層の上に断熱材「RBボード」を設ける、押え防水用の断熱工法です。

- ・ 防水層を温度変化や外圧から保護し、耐久性を向上させます。
- ・ 吸水性・水蒸気透過率が小さいため、断熱材内に水分がたまりません。
- ・ 押えコンクリートの重量にも支障のない圧縮強度を備えます。



#### RBボード

連続押出発泡による、極く小さな気密性の高い独立気泡で構成させた、ポリスチレンフォームです。ギルフォーム同様に「ノンフロン」の断熱材です。



- 910mm×910mm
- 厚さ 25・30・35・40・50・60mm

#### ■ ギルフォームW/RBボードと他の断熱材の種類と特性

材料名	特性	熱伝導性 W/m・K	密度 km/m <sup>2</sup>	透湿係数 ng/m <sup>2</sup> ・s・Pa
ギルフォームW (硬質ウレタンフォーム)		0.023	38.6	83
RBボード (押出発泡ポリスチレン)		0.028	35	52
ポリエチレンフォーム		0.037	30	10.3以下
グラスウール		0.044以下 0.042以下	40 64	非常に大きい
ロックウール		0.044以下	40~100	非常に大きい

